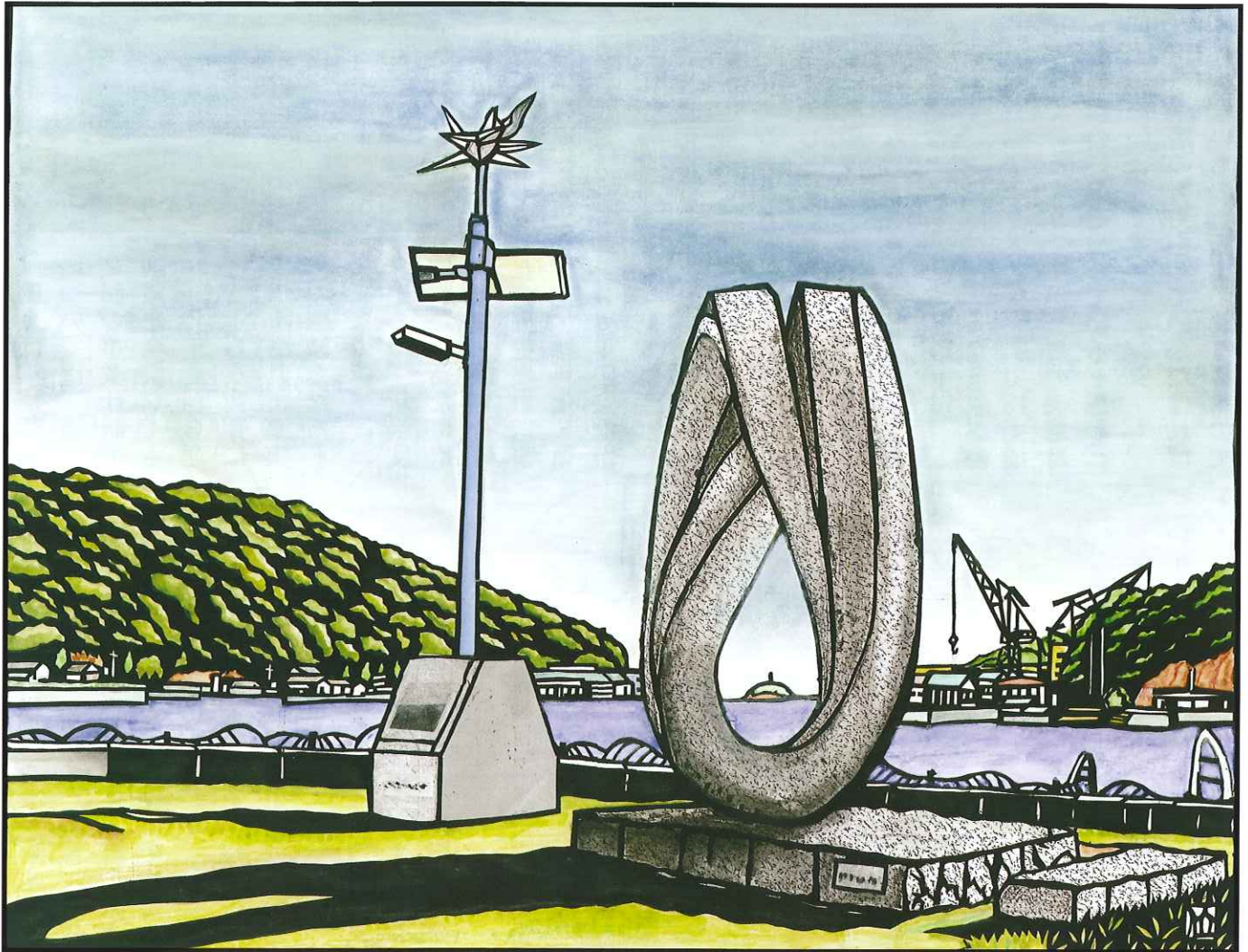


あおい

相生・上郡

(公社)相生・上郡広域シルバー人材センター 相生市山手2丁目123番地
TEL 0791-22-4050 FAX 0791-23-3345

ホームページ <http://www.aioikamigori-sjc.or.jp>



剪画「港のモニュメント「おわん島」が見える」大道 位久男氏 作

安全掲示板

1 高所作業時の安全対策

- ◆脚立、三角梯子使用時の足元の確認
- ◆安全帯の使用

2 交通安全意識の啓蒙

- ◆自転車乗車交通安全講習会
- ◆パンフレット等の配布

主な内容

■H25年度定時総会 …P2~P4

H24年度決算・H25年度予算
アトラクション「落語」
役員紹介・安全関係

■事務局便り ……………P5

企画提案方式事業実施
ボランティア関係
講習会のお知らせ

■親睦委員会便り ……………P6

■会員の広場 ……………P6~P8

サークル紹介「手芸教室」
昆虫採集記
会員の入退会状況
作品紹介
喜寿紹介

平成25年度定時総会開催

5月29日(水)午後1時30分より相生市民会館において定時総会が開催されました。まず会員の物故者へ黙祷の後、理事長の挨拶、永年役員として運営に寄与された角本信三監事(前理事長)、山下丈夫理事の役員表彰。また、会員として当センターの発展に寄与された33名の方々の表彰、ご来賓のご祝辞を受け、議長に竹内勉氏を選出し、総会次第に則り議事が進められ、全ての議案が承認されました。

【理事長挨拶要旨】



『会員の皆様には、平素から当センターの事業にご協力を頂いておりまして、ことに感謝申し上げます。昨年

年の4月に当センターも「公益社団法人相生・上郡広域シルバー人材センター」として生まれ変わったところでございます。

平成25年度は、公益社団法人移行後2年目となりますが、私共シルバー人材センターを取り巻く環境は依然厳しい状況が続いております。



例えば、補助金については、過去2回の事業仕訳で削減を余儀なくされ、今年度から運営費から事業費にシフトされて事実上の削減となるものであります。

そこで、新年度において新たに取組む事業として、環境・教育分野での展開を考慮した企画提案方式事業の剪定枝葉チップ化・燃料化・循環型社会構築事業を3カ年限定ながら国庫補助事業として新規着手し、機能強化推進事業として就業機会開拓推進事業を展開するための職員を配置することといたします。

しかし、受託事業収益を見ましても、前年度の予算額に対しても減額を余儀なくされた収支予算を組まざるを得ないところとなっております。

一方で、世の中は、アベノミクスへの期待感からマスメディアで持て囃されているようですが、その実態はそれ程の好況を呈していると思われたいないようです。当センターも、より一層の努力をしていかなければならないものと考えておりますので、

皆様の更なるご協力をお願い申し上げます。さて、新年のご挨拶でも申し上げましたが、新年度以降の大きな課題としては、現施設は手狭であり、加えて老朽化が著しいことから、新たな作業場・事務所を含む施設への移転又は建て替えを俎上に上げられることとあります。

皆様からの多数の建設的なご意見なり情報をお知らせ頂きますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。』

ご来賓

- 谷口芳紀 相生市長
- 工藤 崇 上郡町長
- 山本守一 上郡町議会議長
- 盛 耕三 県議会議員
- 山口 壮 衆議院議員

(代理) 山口秘書

- 阪口正哉 相生市議会副議長
- 竹内繁礼 相生市健康福祉部長
- 山本英未 相生市建設経済部長
- 三宅淳一 相生市産業振興課長
- 茶野敏彦 上郡町産業振興課長

公務ご多用のなか、ご臨席頂きましたことにありがとうございます。



役員表彰を受賞された 角本信三さん(左)、山下丈夫さん



会員表彰受賞者代表の藤原和夫さん



議案説明

安全就業標語 過信せず 昔出来ても今は無理 相生上郡SC 山下 功

【アトラクション】

総会終了後、アトラクションを開催、落語家の「三遊亭 楽団治さん」をお招きして演題・「元気はつらつ、すこやか人生」と題して、手作りの小道具を



出しな
がら、
ユーモ
アたっ
ぷりの
語り口
調でシ
ルバー
世代の

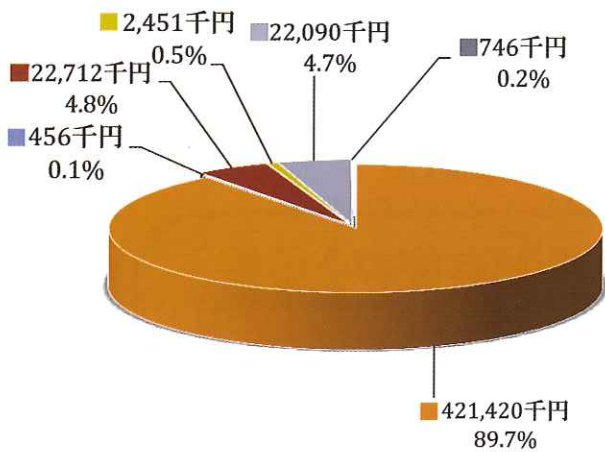
生き方の術を聞かせて頂きました。始めに、『ボランテアや趣味を通して、閉じこもりから脱皮して人との繋がり、即ち人と人とのネットワークを広げて「和が輪」になるようお互いが助け合いの気持ちで心掛けて、「老人」ではなく「朗人(明るく、心豊かな人)」になって、楽しい日々を送ることが大切である』ということ。そして男性には家庭において、『炊事・洗濯・掃除といった家事が、少しでも自分で出来るよう日頃からやっておくことが必要だ』というお話でした。

24年度決算

経常収益

(469,875千円)

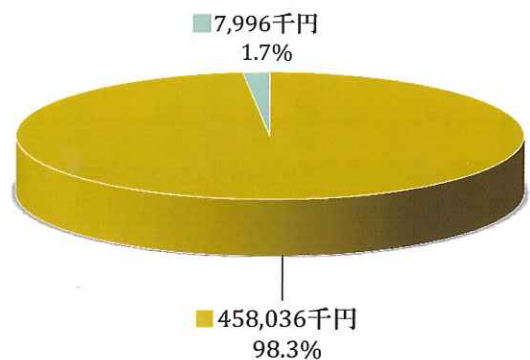
- 受託事業収益
- 受取会費
- 労働者派遣事業収益
- 受取補助金等
- 介護保険事業収益
- 雑収益



経常費用

(466,032千円)

- 事業費
- 管理費

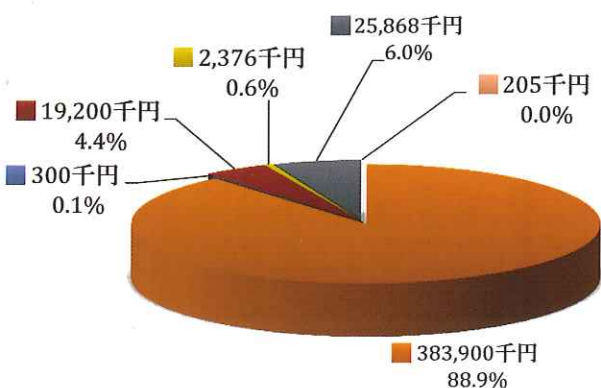


25年度予算

経常収益

(431,849千円)

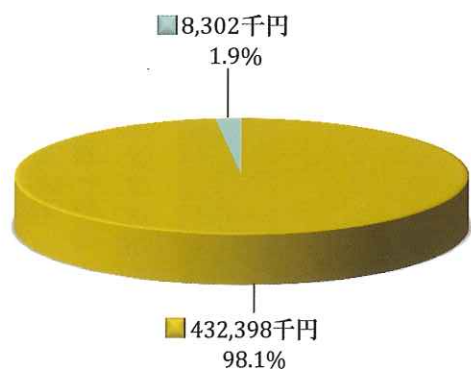
- 受託事業収益
- シニアワークプログラム技能講習共同費収益
- 労働者派遣事業等受託収益
- 受取補助金等
- 介護保険事業収益
- 雑収益
- 受取会費



経常費用

(440,700千円)

- 事業費
- 管理費



役員紹介

役員任期満了に伴い、選考委員会で選考され、総会に上程し、承認されました。総会後の理事会において理事長、副理事長、常務理事の選定がありましたので紹介します。

なお、事務局長は、三住浩文氏が退任し、後任に森川順天常務理事が兼務いたします。

- ◆ 理事長 山本 肇
- ◆ 副理事長 坂本 雅弘
- ◆ 常務理事 森川 順天(新任)
- ◆ 理事

- 安西 剛男 大石 泰男
- 桑原 伸次 竹内 繁礼
- 濱中 弘 松本 愛子
- 山本 典子 山本 英未
- 茶野 敏彦(新任)
- 藪田 洋一(新任)

◆ 監事

- 上田 俊夫 山田 正司
- 三住 浩文(新任)



【新任役員】



森川順天氏



藪田洋一氏



茶野敏彦氏



三住浩文氏

【退任役員】

平成25年度 定時総会終結の時をもって、当センターの運営並びに事業の発展に寄与された次の方々役員を退任されました。

- ▼ 角本 信三氏 理事(理事長)並びに監事 在任期間 6期
- ▼ 山下 丈夫氏 理事在任期間 7期
- ▼ 山本 善彦氏 理事在任期間 1期
- ▼ 三住 浩文氏 理事(常務理事)を退任され監事に就任されました。

安全成績および目標

平成25年度安全目標

	安全目標
重篤災害件数	0件
一般災害件数	5件以下
休業日数	120日以下
物損事故件数	3件以下

平成24年度安全成績

	安全目標	結果
重篤災害件数	0件	0件
一般災害件数	5件以下	5件
休業日数	150日以下	84日
物損事故件数	3件以下	6件

【重点項目】

《安全は 家族に贈る フレゼント》

- 一、作業別安全基準の指示・徹底および遵守
- ① 作業内容の把握と事前検討
- ② 作業前の個人安全宣言の推進
- 二、健康管理と安全対策
- ① 自己による体調管理の推進
- ② 夏季の熱中症対策と救急措置の徹底
- ③ 作業の節目での指差し呼称と危険予知(KY)の励行
- ④ 作業環境の把握と危険個所の排除
- ⑤ 作業に適正な器具の使用
- ⑥ 新規導入機械の取扱講習会
- 三、機械・器具の点検・整備
- ① 使用前・後の点検・整備の実施
- ② 作業後は、決められた定位置に保管
- 四、就業場所の整理整頓
- ① 作業後の清掃の励行
- 五、交通ルールの遵守
- ① 自動車、オートバイ、自転車走行時のルールとマナーの遵守
- 六、自動車の管理
- ① 使用前後の点検整備の実施
- ② 走行距離に応じた整備の実施

事務局便り

「企画提案方式事業」実施

《剪定枝葉で環境・教育》

当センターは、相生市が進めている地球温暖化防止に向けた循環型社会の構築への取り組みに参画いたします。当センターでは、年間六百件程度の剪定と約五十トの枝葉の処理を受注しており、枝葉の処理は、美化センターでの焼却処理と市が一部燃料化を行っております。これを平成25年度からは、剪定枝葉をチップ化し赤穂市にある住友セメント(株)ボイラー燃料(重油の代替)として利用することによる焼却量の減量化と再資源化を図ります。加えて、チップ材などを活用してカブトムシの飼育を行い市内の学校・園などに配布し、環境学習に役立ててもらおう取り組みを行います。

この事業は、シルバー人材センター



「企画提案方式事業」として国の採択を受け、3ヶ年の補助事業として実施するものであり、4年目からは市からの委託事業として将来に向け継続的に実施するものであります。

これにより初年度は、11人程度の就業が見込まれます。

今後このような企画提案方式などを活用して自主事業の構築に努めていきます。

「清掃ボランティア」実施

5月25

日(土)、

26日(日)

に開催された「相生ペーロン祭」において、当センターでは、市行事等への奉仕活動を通じ社会貢献の一環として、前夜祭および、ペーロン祭当日の早朝と終了時に、会場周辺の道路、ポート公園周辺、市役所周辺道路等を中心に会員延べ106名の方々の参加を得て清掃ボランティアを実施しました。

参加された皆様ご苦労様でした。



園児と清掃活動

長治 康洋

五月晴れの空に泳ぐ鯉のぼりもさわやかな5月1日(水)、日頃公共を担当している会員6名は、相生市立山手幼稚園の先生、三歳児、五歳児の園児と共に、墓地公園内の児童遊園地の清掃活動を行いました。

赤い帽子の三歳児、青い帽子の五歳児の子、幼稚園で留守番をしているのは四歳児。朝泣いて母親と離れなかつた子や普段人になつかない子がシルバーのおじいちゃんにぴったりとくつつきなついて、楽しく生き生きと清掃している姿に、先生達も感動されていました。

園児たちが「よし、やってみよう」という気

になり、楽しさや、興味やおもしろさを感じ、やる気を大きく膨らませてくれたのだと感じ



ました。

核家族が

ほとんどで、

祖父母との

接点が少ない中、『おじ

いちゃん達

と一緒にお

掃除ができ

て良かった』、『きれいな

なって良かった』、『また会おうね』と口々に言っ

てくれた子供たちの純粋さに園児と

シルバーの世代を結ぶ心のふれあい

や、すがすがしさが感じられ、私達

が世代を超えて、社会と結ばれ役に

立っている喜びを感じた半日でした。

お知らせ

一、『安全・適正就業講習会』

① 期日・7月20日(土)午前10時

② 場所・相生市立総合福祉会館

二、『高齢者自転車講習会』

① 期日・9月18日(水)

② 場所・上郡・元船坂小学校跡

三、『親睦委員会今後の行事予定』

◆グラウンドゴルフ大会 10月

◆ボーリング大会 1月

なお、詳細については、その都度お知らせします。



親睦委員会だより

《研修旅行・出雲大社参拝》

平成25年度の研修旅行は、6月1日(土)、相生地区69名、上郡地区38名の会員が3台のバスに分乗して、国宝・出雲大社へ行きました。

出雲大社は、今年、60年に一度の大遷宮の年に当り大國主尊がご本殿に移られたとのことでした。

本殿の大しめ縄をくぐり色々な思いを含めて二礼・四拍・一礼して参拝、御神樂を見学し、境内を散策しました。

その後バスは、島根ワイナリーへと進み、ここでは数種類のワインを試飲、お土産に好みのワインなどを買った人もありました。

片道4時間の、車内では会員の賑やかな話声と笑いの中、楽しい一日を過ごすことができました。

なお、集合写真の希望者は、7月19日(金)までに事務所へ申し出てください。(一枚100円・Tel:224050)



サークル紹介

みのり会(手芸)

私たちはヘルパーの中で手芸に興味を持ち、色々なものを作りたい仲間が、月2回『手芸の日』を決めて集まって、作品作りを楽しんでいます。仕事で全員がそろうことは少ないですが、会員9名が笑顔とおしゃべりで作品を仕上げていくのは楽しいものです。



講師はベテランの現役ヘルパーの岩崎さんで多種多様な作品の指導を受けています。それに応えて可能な限り参加して多くの作品を作り、これは『作品展』とがんばっています。皆さんの参加をお待ちしています。

代表 岩崎 峯代
手芸日 第一・第三火曜日13時
連絡先 SC事務所

ヘルパー事務所
22・4050
22・4611

会員の広場

昆虫採集記

「第三回・小学生児童に

蝶の一生の授業を」

米村 和繁

私の蝶マニアが人伝に聞かれたのか、昨年5月に相生小学校3年生の理科の授業を依頼されました。

3年生の夏休みの宿題が「科学研究記録」とのことで、「蝶の一生」をテーマにモンシロチョウやアゲハチョウなどの飼育を始めることから学習を行うことにしました。

事前に学習資料を整えるにあたり、社会環境が文明や文化の進歩している中で、自然界でも生物の生態系が変化している現実も取り入れた授業をしていくことにしました。

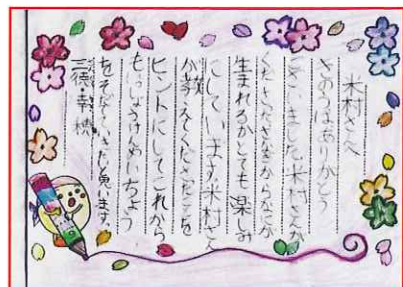
児童たちに自分の思いがどこまで伝わるか。また、学習意欲を損なわないように興味を持ち理解してくれるか。資料を整え



児童からの礼状文集

授業に備える内容にしました。

いよいよ授業に入りましたが、児童たちが退屈しないよう、内容がわかるようにとクイズも交えながら進めていくうち児童たちは段々興味を持ちはじめ『蝶に接するにはどうか』



など質問が始め、心配していた45分間の授業は短く感じるほど早く経過していききました。どうか無事、受け持ちの授業を終えた時、この授業で話したことの一つでも理解してもらえただろうか、何人が興味を持ってくれただろうか、など自分に問

いかけながら小学生低学年の授業は難しいものだと思えました。そして、この授業で蝶に興味を持つてくれる児童が一人でも出てくれればと願っております。

最後に、昆虫採集を振り返って、自分では思いもよらないきっかけで趣味が高じて、自分なりの環境の中で贅沢とはいえないながらも蝶の採取の人生を満足しております。

(おわり)

会員の入退会状況

(平成24年12月1日～平成25年4月30日)

【新入会員】 相生16名・上郡3名 合計19名 (敬称略)

《相生地区》

島津 勝美・溝尾 泰蔵・花崎 民子・松井 保雄・西田 佳臣・小和瀬 雄司・小嶋 順一
北本 勝・久保 誠・西川 彰・長治 康洋・佐野 幸雄・福井 克司・小林 和馬・泉 多美子
岸本 政夫

《上郡地区》

小林 みさ子・横山 和江・芭蕉 武光

【退会会員】 相生32名・上郡9名 合計41名 (敬称略)

《相生地区》

岡本 和夫・中島 勝枝・森谷 さち子・横山 四良・田畑 寛治・山田 和恵・竹久 和夫
梅本 政志・山本 十四郎・森永 文代・和田 武昌・前坂 保身・平井 良輝・山田 修二
中屋 路子・田淵 龍義・山田 浅義・桑原 晴美・中川 義男・細田 信夫・岩田 恵介
福井 英昭・中村 喬明・岡本 正秀・吉野 美喜子・室井 勝・倉岡 公太郎・濱田 進
山田 二三男・油田 正博・高嶋 敏雄・大上 明広

《上郡地区》

大谷 明良・西村 邦子・宮澤 弘之・原 秀樹・大前 敏明・村瀬 信光・細田 丙馬
森 妙子・境 命子

【在籍会員数 (人)】

相生地区	上郡地区	全体		会員合計
		男性	女性	
556	99	523	132	655

介護のご相談はシルバーへ

働く意欲にあふれた会員が、学習会や研修会を重ね「やさしく、ていねいに」をモットーに暮らしのお手伝いをしています。

お気軽にお電話ください。
お伺いしてご相談に応じます。

ヘルパー事務所 Tel. 22-4611
(シルバーセンター事務所 22-4050)



剪画作家
大道位久男氏

「表紙の「うた」
相生湾のポート公園に石で造られたモニュメントがありま
す。その輪を覗くと「おわん島」
が見える。その横に相生の詩人
「高須剛」さんの『橋のたもと』
と題した詩が刻まれています。
一度ご覧下さい。



油絵「夕暮れ」
山西 健雄 さん

作品介绍



ブラウスから帽子へリフォーム
石坂 盈子 さん

喜寿のお祝い申しあげます

喜寿(昭和 11 年 4 月～昭和 12 年 3 月、相生地区・12 名、上郡地区・6 名)を迎えられた方々をご紹介します。なお、上郡地区は古希の祝いを受けられた方も記載しております。(敬称略)

◇昭和 11 年:

7 月 「二・二六事件」判決、17 人に死刑(一週間後 2 名を除き処刑)

8 月 第 11 回ベルリン五輪で金 6、銀 5、銅 10、棒高跳びで西田修平(26)、大江季雄(22)が 10 余時間の熱闘の末、勝負が決まらず大江が先輩の西田に銀を譲る。後に「銀」「銅」メダルが半分ずつ継ぎ合わされ「友情のメダル」と呼ばれた。

12 月 プロ野球初の優勝決定戦開催、巨人が 2 勝 1 敗でタイガースを破り優勝

◇昭和 12 年:

2 月 海軍補充計画予算可決、5 カ年計画で戦艦「大和」「武蔵」他 66 隻建造と航空力の強化図る。

相生地区

岡本 修二	川渕 五男	西脇 誠一	山下 京子	山越 浩平	孝田 清美
高岸 昭夫	赤木美智博	三田 昌男	井上 茂樹	長谷川雅一	松本佐智子

上郡地区

原 惣一郎	三浦 利之	高橋 広子	木南 邦夫	小林 治	谷口 弘子
-------	-------	-------	-------	------	-------

編集後記

「敬老の日」の話をするのは少し気が早いようですが、「敬老の日」の始まりは、諸説あるようです。

昭和 22 年 9 月 15 日に、兵庫県野間谷村(現八千代町)の門脇政夫村長が「お年寄りを大切にし知恵を借りて村づくりをしよう」と提唱した「としよりの日」が、始まりだといわれています。

10 年前に祝日法が改正され、敬老の日も 9 月の第三月曜日に変わり、ハッピーマンデーと言われて、日・月曜と連休になりました。

シルバー世代の私たちは、「かけがえのない人生の先輩として、豊富な知恵と経験の持ち主」と敬ってもらえるよう、だれもが安心して老いていける心豊かな長寿社会を築いていきたいものです。

編集委員発行 (三住・松本・濱中・有田・浦川)